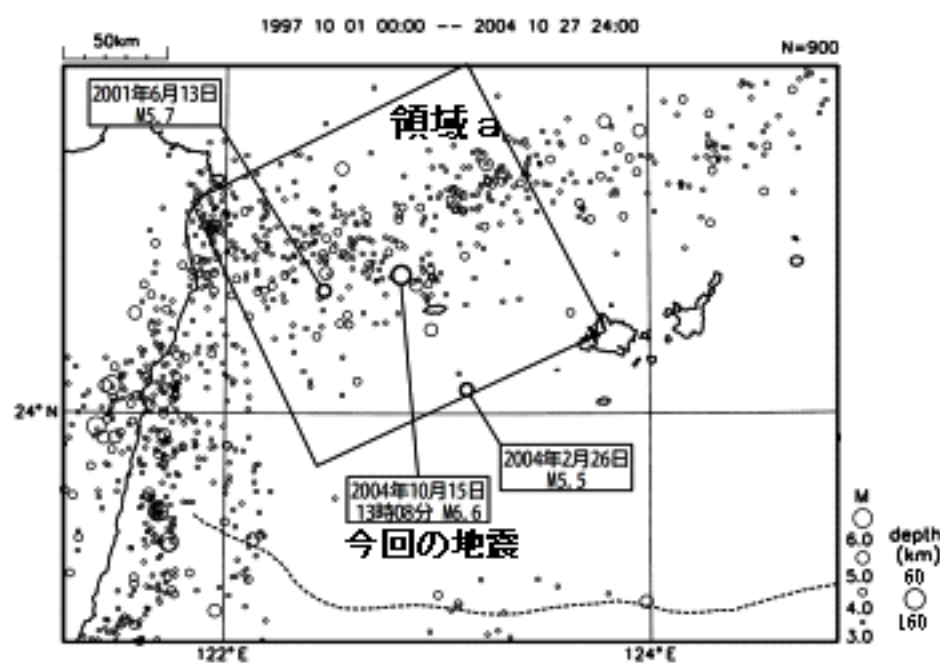


10月15日 与那国島近海の地震

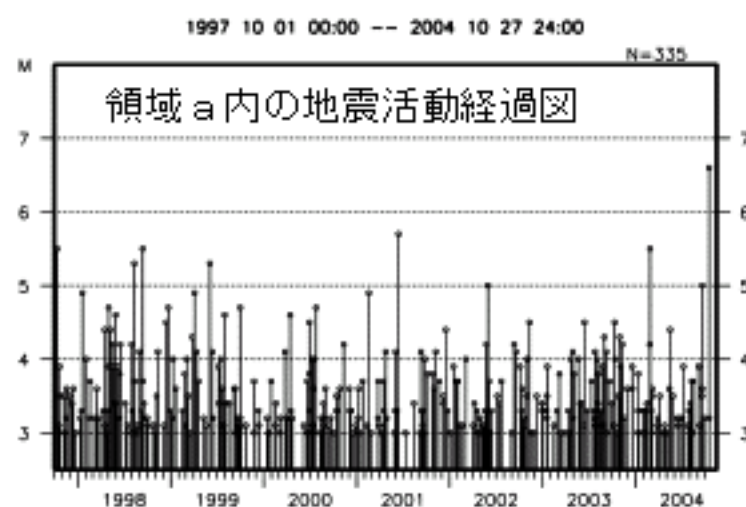
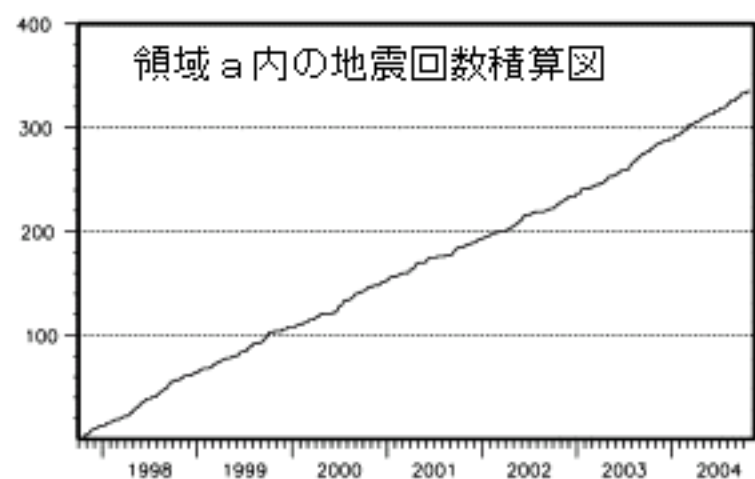
震央分布図

(1997年10月以降、 $M \geq 3.0$ 、深さ60~150km)

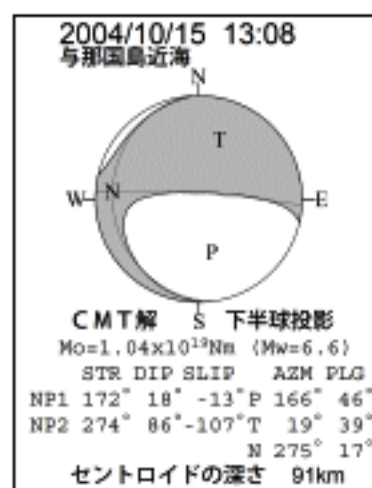
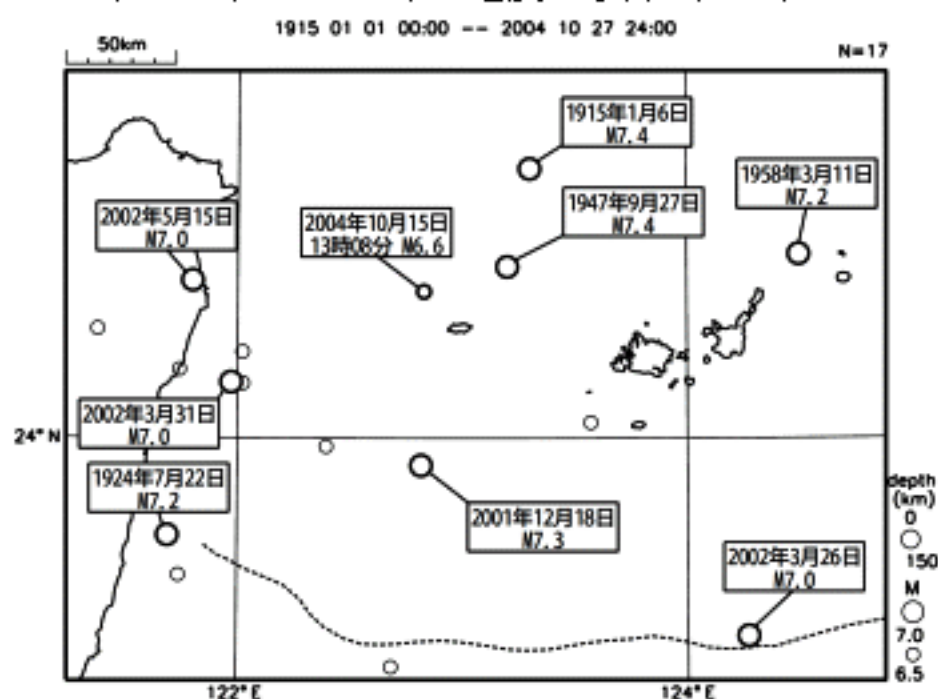


2004年10月15日13時08分に与那国島近海の深さ83kmでM6.6(最大震度5弱)の地震が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部の地震で、発震機構は沈み込みの方向に張力軸を持つタイプであった。余震は16日に2回(M3.2とM2.2)観測された。

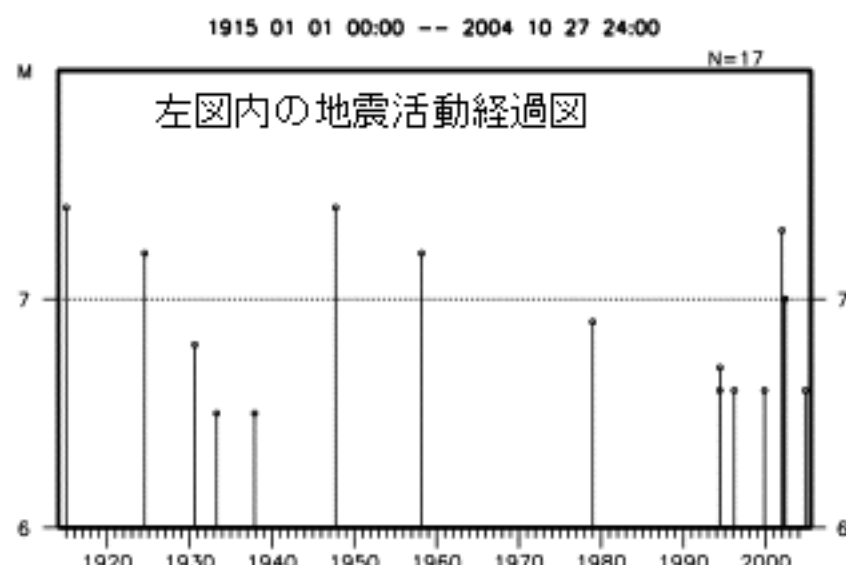
今回の地震の付近では、1947年9月27日にM7.4の地震が発生しており、石垣島で1人と西表島で4人の死者を伴う被害が発生している。



震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 6.5$)
(1915年と1947年の地震は宇津(1999)*による)



今回の地震の発震機構 (CMT解)



1947年9月27日の地震は、宇津のカタログから引用(気象庁で震源が決定できていない)した。
1915年1月6日の地震は宇津カタログによる。

* 宇津徳治(1999):『地震活動総説』, 東京大学出版会, 876pp.